

平成23年度 栗原市のお金の使い道 (栗原市決算概要)



(「南三陸町と栗原市との交流会・復興祈願植樹」から)

つく
「市民が創る くらしたい栗原」



は じ め に

市民のみなさま、こんにちは。

市長の佐藤 勇です。

東日本大震災から1年7か月を経過し、これまで市民生活の再建と各施設の復旧に向け、その対策に全力で取り組んでまいりました。



また、東京電力福島第一原子力発電所事故への対応につきましては、市民のみなさまの不安を解消するため、引き続き放射線量測定結果などを公表するとともに、学校等の施設から順次除染を行っております。

今後も大震災からの復旧と放射性物質の拡散に対する施策に万全を期してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

さて、平成23年度におきましては、子育て支援策として小・中学生の通院、入院に係る自己負担費用の助成や、市民の安全・安心を守るための消防北分署建設事業など、大部分の事業は予定どおり執行いたしておりますが、東日本大震災などの影響により年度内に完了できなかった44事業、約60億円を平成24年度へ繰り越して事業を行っております。

「栗原市のお金の使い道（平成23年度決算概要）」は、予算がどのような使われ方をしたのか結果が分からないという要望があり、昨年度から作成し、今回が2回目の発行となるものであります。

「栗原市のお金の出所と使い道」と同じく「わかりやすく」、「見やすく」を心がけて作成いたしました。お気づきの点があればご意見などをお寄せいただきながら、「市民が創る くらしたい栗原」をともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、市民のみなさまの更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年11月

栗原市長

佐藤 勇

～ 目 次 ～

主要事業の決算額一覧	1
1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」	
(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します	4
(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します	5
(3) 安全・安心なまちづくりを推進します	7
2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」	
(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します	8
(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します	9
(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります	9
3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」	
(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	10
(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくりまします	11
(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	13
4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」	
(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組まします	14
(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します	15
(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します	16
5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」	
(1) 小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します	17
(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	17
(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います	17
6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します ..	18
7 特別会計・事業会計予算の主な事業	20
8 平成22年度からの主な繰越事業	22
9 東日本大震災関係予算	23

資料の見方

(1) 事業別決算一覧 (1～3ページ)

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H24年度への繰越額)	ページ
(2) 多様な暮らしを満喫できる 生活環境を形成します	都市計画街路事業	8,626 万円	2,363 万円 (4,064 万円)	

平成23年度内に使った金額(決算額)です。

平成23年度予算のうち、年度内に完了できなかった事業費を平成24年度に繰越して、事業を行う金額です。

(2) 施策別事業概要 (4～24ページ)

拡 都市計画街路事業	2,363万円
【H24年度への繰越額】	4,064万円

(担当：都市計画課都市計画係)
3路線の整備を行い、安全で快適な交通体系を確保し、利用しやすい街路づくりを行っています。

一般会計・事業別決算一覧

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H24年度への繰越額)	ページ
(1) 豊かな自然環境と共生した 生活を実現します	電気自動車購入事業	2,950 万円	766 万円	4
	一般住宅省エネ化推進事業	441 万円	427 万円	
	資源ごみ収集処理事業	2,788 万円	2,204 万円	
	みやぎ環境交付金事業	946 万円	835 万円	
	農地・水保全管理支払交付金事業	8,031 万円	8,008 万円	
(2) 多様な暮らしを満喫できる 生活環境を形成します	都市計画用途地域・都市計画道路見直し事業	850 万円	471 万円	5
	道路橋りょう維持事業	3億3,766 万円	3億494 万円 (3,871 万円)	
	都市計画街路事業	8,626 万円	2,363 万円 (4,064 万円)	
	公営住宅整備事業	8,934 万円	1,757 万円 (3,632 万円)	6
	道路整備事業	9億2,141 万円	2億3,311 万円 (2億5,139 万円)	
	無線システム普及支援事業	1億4,114 万円	1億991 万円	
(3) 安全・安心なまちづくりを推進します	新地域交通システム整備事業	2億4,129 万円	2億445 万円	7
	自主防災組織発電機等交付事業	0 万円	3,085 万円	
	高規格救急車整備事業	2,972 万円	2,694 万円	
	荒砥沢ダム崩落安全対策モニタリング事業	4,687 万円	4,205 万円	
	栗原消防署北分署建設事業	2億4,122 万円	2億3,087 万円	

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H24年度への繰越額)	ページ
(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します	(仮称) 金成小中一貫校建設事業	9億6,873 万円	6,017 万円 (9億914 万円)	8
	若柳中学校校舎改築事業	15億6,608 万円	4億7,440 万円 (7億7,339 万円)	
	学力向上のための緊急プロジェクト	455 万円	444 万円	
	語学指導を行う外国青年招致事業	6,833 万円	6,120 万円	
	家庭・地域・学校の連携による青少年育成のための 協働教育推進事業	57 万円	43 万円	
	豊かな心をはぐくむ教育環境創造事業ほか3事業	629 万円	587 万円	
(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します	栗駒山を愛した画家たちの作品展	118 万円	84 万円	9
	「目指せ！日本一」スポーツ振興事業	200 万円	276 万円	
	「やったね！日本一」スポーツ振興事業	100 万円	30 万円	
	ほんものの舞台芸術鑑賞事業	533 万円	443 万円	
	「心にきざむ 文化講演会」	219 万円	153 万円	
(3) 地域に根ざした文化の振興と 歴史の継承を図ります	文化財保護事業	8,802 万円	225 万円 (5,567 万円)	

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

区 分	事 業 名	当初予算額	決算額 (H24年度への繰越額)	ページ
(1)子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	ブックスタート推進事業	72 万円	78 万円	10
	児童虐待防止対策事業	377 万円	367 万円	
	放課後児童クラブ等運営事業	6,508 万円	6,604 万円	
	特定不妊治療費助成事業	80 万円	100 万円	
	地域子育て支援センター運営事業	1,599 万円	1,430 万円	
	すこやか子育て支援金支給事業	2,500 万円	2,103 万円	
	子ども医療費助成事業	9,026 万円	4,665 万円	
	一時保育事業	1,105 万円	1,082 万円	
(2)誰もが健康で安心して 暮らせる環境をつくります	母子保健健康診査事業	6,356 万円	5,928 万円	11
	健康診査事業	1億9,735 万円	1億6,689 万円	
	予防接種事業	1億4,185 万円	1億6,117 万円	12
	消費生活相談事業	562 万円	502 万円	
	地域活動支援センター・小規模作業所運営事業	2,203 万円	2,071 万円	
	日中一時支援事業	369 万円	347 万円	
	いのちを守る緊急総合対策事業	1億369 万円	1億328 万円	
	日常生活用具給付等事業	1,546 万円	1,726 万円	
	移動支援事業	496 万円	306 万円	
	コミュニケーション支援事業	77 万円	60 万円	
相談支援事業	1,980 万円	1,960 万円	13	
自動車運転免許取得・改造助成	70 万円	33 万円		
訪問入浴サービス事業	228 万円	335 万円		
(3)高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	高齢者福祉タクシー利用助成事業	390 万円	480 万円	13
	緊急通報体制等整備事業	318 万円	244 万円	
	「食」の自立支援事業	775 万円	882 万円	
	軽度生活援助事業	950 万円	725 万円	
	生きがい活動支援通所事業	2,953 万円	2,254 万円	
	日常生活用具給付事業	30 万円	10 万円	
	高齢者日常生活支援業務利用助成事業	150 万円	121 万円	

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

区 分	事 業 名	当初予算額	決算額 (H24年度への繰越額)	ページ
(1)栗原ブランドの形成と高付加価値の 地場産品づくりに取り組みます	栗原ブランドの確立・支援事業	1,092 万円	1,008 万円	14
	くりはら和牛の郷づくり支援強化事業	907 万円	906 万円	
	ペレットストーブ購入事業	100 万円	100 万円	
	安全・安心な栗原米生産流通対策事業	7,819 万円	2,385 万円 (1,848 万円)	
	米消費拡大推進事業	50 万円	48 万円	
(2)産業育成と企業誘致による 産業拠点を形成します	くりはらイノベーションプロジェクト	914 万円	209 万円	15
	雇用拡大奨励金	2,000 万円	1,740 万円	
	企業立地促進奨励金	2,769 万円	1,277 万円	
	雇用促進奨励金	500 万円	410 万円	
	新産業創出支援事業	500 万円	500 万円	
	中小企業振興資金	3億4,000 万円	3億2,763 万円	
	ものづくり企業活性化事業	290 万円	120 万円	
(3)地域資源を活かした交流人口の 増加を図り栗原市を発信します	広域観光戦略推進事業	120 万円	49 万円	16
	くりはら交流プラザ改修事業	1億2,449 万円	1億410 万円 (633 万円)	
	観光施設整備事業	1億2,704 万円	7,096 万円 (5,630 万円)	
	くりはら田園観光都市創造事業	356 万円	241 万円	
	商店街活性化事業	200 万円	108 万円	

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

区 分	事 業 名	当初予算額	決算額 (H24年度への繰越額)	ページ
(1)小さなコミュニティを大切に 地域づくりを推進します	住民自治活動助成事業	7,078 万円	6,394 万円	17
	男女共同参画推進事業	40 万円	36 万円	
(2)市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	栗原市市民活動支援センター運営事業	835 万円	730 万円	
(3)市民満足度を重視した効率的な 行政サービスを行います	郵便局窓口交付サービス事業	116 万円	103 万円	

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

区 分	事 業 名	当初予算額	決算額 (H24年度への繰越額)	ページ
水と緑、山の再生へ	集落支援対策事業	330 万円	322 万円	18
	栗駒山交通渋滞対策事業	300 万円	192 万円	
	中小企業災害復旧融資利子補給補助金（平成20年岩手・宮城内陸地震分）	300 万円	232 万円	
	栗駒山麓崩落地・景観活用事業	144 万円	39 万円	19
	ブロック塀等除却・生垣等設置助成事業	500 万円	244 万円	

7 特別会計・事業会計決算の主な事業

区 分	事 業 名	当初予算額	決算額 (H24年度への繰越額)	ページ
国民健康保険特別会計	特定健康診査・特定保健指導事業	5,600 万円	4,534 万円	20
介護保険特別会計	認知症対策事業	395 万円	734 万円	
	介護予防事業	1,692 万円	1,268 万円	
後期高齢者医療特別会計	後期高齢者医療制度	8億5,360 万円	7億4,549 万円	
水道事業会計・簡易水道事業特別会計	給水車購入事業	1,200 万円	993 万円	
	水道施設整備事業	2億6,078 万円	1億3,819 万円 (8,012 万円)	
下水道事業特別会計	公共下水道事業	7億5,185 万円	2億2,818 万円 (6,806 万円)	
合併処理浄化槽事業特別会計	戸別浄化槽設置事業（市町村設置型）	2億3,570 万円	1億5,774 万円	
	浄化槽整備事業（個人設置型）	736 万円	402 万円	
農業集落排水事業特別会計	農業集落排水事業	228 万円	272 万円	
病院事業会計	医師住宅整備事業	5,991 万円	1億277 万円 (560 万円)	21
	医療機器整備事業	6億4,531 万円	6億1,627 万円	
	医学生修学一時金貸付事業	2,280 万円	2,280 万円	
	看護学生修学資金貸付事業	540 万円	540 万円	

8 平成22年度からの主な繰越事業

区 分	事 業 名	繰越予算額	決算額 (H24年度への繰越額)	ページ
主な繰越事業	くりはら田園鉄道資産活用事業	1,309 万円	1,178 万円	22
	幼稚園・小中学校エアコン設置事業	6,129 万円	5,799 万円	
	図書館施設整備事業	7,000 万円	4,834 万円 (1,982 万円)	
	築館中学校体育館改築事業	4億3,904 万円	3億7,950 万円	
	農業用施設維持補修事業	1 億円	9,890 万円	23
	森林路網整備事業	2,000 万円	1,746 万円 (252 万円)	
	道路・橋りょう維持補修事業	2億2,000 万円	1億9,211 万円 (2,688 万円)	
	栗駒中学校校舎改修事業	5,570 万円	5,025 万円	

9 東日本大震災関係決算

区 分	事 業 名	予算額	決算額 (H24年度への繰越額)	ページ
主な事業	下水道等施設災害復旧費	15億8,041 万円	7億6,117 万円 (8億1,907 万円)	23
	簡易水道施設災害復旧費	1億5,089 万円	1億4,584 万円 (240 万円)	
	上水道施設災害復旧費	2億6,611 万円	2億1,986 万円 (3,525 万円)	
	診療所施設災害復旧費	111 万円	60 万円	
	病院施設災害復旧費	3,344 万円	3,343 万円	
	災害対策費	3億5,418 万円	3億2,043 万円	
	復興支援費	27億7,245 万円	14億167 万円 (12億9,276 万円)	24
	環境放射線対策	3,703 万円	3,070 万円	
	学校施設災害復旧費	8億1,742 万円	7億5,868 万円 (5,370 万円)	
	道路橋りょう災害復旧費	21億7,865 万円	12億7,813 万円 (8億8,100 万円)	
	農林業施設災害復旧費	8億9,181 万円	4億1,935 万円 (7,966 万円)	
	社会教育施設災害復旧費	6億5,292 万円	4億771 万円 (2億4,400 万円)	

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

電気自動車購入事業

766万円

(担当：管財課財産係)

二酸化炭素などを排出せず、地球温暖化防止対策の手段として大きく期待されている電気自動車を公用車として購入し、環境にやさしいまちづくりを進めました。



公用車として購入した電気自動車

みやぎ環境交付金事業

835万円

「みやぎ環境税」を活用した事業として、自然環境保全及び野生鳥獣対策を目的とした事業を実施しました。

「間伐材を利用した林間歩道整備事業」

(担当：田園観光課観光振興係)

栗駒耕英地区のミズバショウ群生地の木道を整備しました。



整備されたミズバショウ群生地

一般住宅省エネ化推進事業 427万円

(担当：環境課環境政策係)

地球温暖化を抑制するため、一般家庭における太陽光発電と省エネ設備を併せて設置する際に補助金を交付しました。



一般家庭への普及が進む太陽光発電パネル

農地・水保全管理支払交付金事業

8,008万円

(担当：農業政策推進室)

田や畑及び農業用水などの資源や農村環境の良好な保全とその質の向上を図るため、地域ぐるみで参加する共同活動や環境にやさしい農業に向けた営農活動に対して支援を行いました。



共同活動による水路の泥上げの様子

資源ごみ収集処理事業 2,204万円

(担当：環境課生活環境係)

ごみの減量化・再資源化を推進するため、資源ごみの適正処理や分別の普及啓発を行いました。

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

都市計画用途地域・都市計画道路見直し事業 471万円

(担当：都市計画課都市計画係)

都市計画マスタープランに沿った土地利用誘導を図るため、全市的視点から都市計画用途地域・都市計画道路の見直しを行い、見直し素案作成に取り組みました。



用途指定されている街並み(築館宮野地区)

都市計画街路事業 2,363万円

【H24年度への繰越額 4,064万円】

(担当：都市計画課都市計画係)

3路線の整備を行い、安全で快適な交通体系を確保し、利用しやすい街路づくりを行っています。



整備中の都市計画道路源光町田線

(築館) 一迫南線、小山内沢線、源光町田線

道路橋りょう維持事業 3億494万円

【H24年度への繰越額 3,871万円】

(担当：建設課維持係)

市道や側溝等の補修をして、安全安心な道路環境を整備しました。

公営住宅整備事業

(担当：建築住宅課建築係)

1,757万円

【H24年度への繰越額 3,632万円】

安心して暮らせる居住環境・生活環境の整備を図るため、公営住宅の建替えや、改修事業を行い、地域と密着・連携した住宅の整備と住宅の解体及び公共下水道に切替える住宅の改修を行いました。

住宅の設計 (栗駒) 上町裏住宅建替
住宅の解体 (築館) 土橋住宅
下水道切替 (栗駒) 上野住宅



上町裏住宅建替予定地の旧栗駒病院跡地

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

道路整備事業

2億3,311万円

【H24年度への繰越額 2億5,139万円】

(担当：建設課建設係)

○道路新設改良事業

市民の生活を支える基礎となる市道を整備し、安全で快適な道づくりを実施しました。

《築館》間渡戸線、下中道線《若柳》大林9号線、新田線（2期）

《栗駒》高松松倉線、上町裏線、広域線《高清水》上萩田線、覚満寺線（2期）

《一迫》清水小栗目日照線、十日市線《金成》片馬合原線、栗原北上線

《志波姫》栗原中央線（2期）《花山》芦ノ口上原線



市道高松松倉線（栗駒）



市道清水小栗目日照線（一迫）

無線システム普及支援事業

1億991万円

(担当：市政情報課情報化推進係)

テレビ放送の地上デジタル化に伴い、既設の共同受信施設の改修や新たな共同受信施設の設置が必要となる地域に対し、改修又は新設に要する費用を補助し、難視聴地域の解消を図りました。



共同受信施設

新地域交通システム整備事業

2億445万円

(担当：市民協働課地域振興係)

県内一広い面積である栗原市の公共交通の利便性向上を図り、交通空白地域の解消のため、築館富野地区市民バスを新設しました。

また、市民のニーズに合わせたダイヤの設定等、通院や通学などに配慮した交通体系の確立に努めました。

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(3) 安全・安心なまちづくりを推進します

新 = 新規事業、**拡** = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 自主防災組織発電機等交付事業

3,085万円

(担当：危機管理室防災係)

東日本大震災の経験を踏まえ、災害発生時に指定避難所または集会所に一時避難した際の自主防災組織活動の支援として照明、情報収集機器類、冷暖房器具等の停電時の電源確保が必要なことから、各自主防災組織へ発電機並びに投光器、コードリールの災害用備品を交付しました。



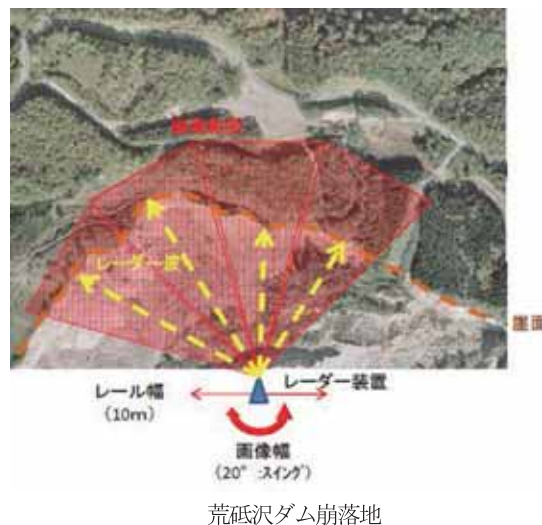
自主防災組織への発電機等の交付式

新 荒砥沢ダム崩落安全対策

モニタリング事業 4,205万円

(担当：危機管理室防災係)

平成20年岩手・宮城内陸地震による荒砥沢ダム上流部の崩落地において、林野庁や東北大学・民間企業と共同でモニタリング機器等を設置して、周辺の人家や市道への影響を調査し、監視を行います。



新 栗原消防署北分署建設事業

2億3,087万円

(担当：消防本部総務課総務係)

5署所体制再編計画に基づき、消防力の適正配置による効率的運用を図るため、栗駒分署と鶯沢分署を統合し、新しく北分署の建設を行いました。



平成23年度に完成した栗原消防署北分署
(平成24年4月1日開署)

新 高規格救急車整備事業 2,694万円

(担当：消防本部警防課警防係)

栗原消防署西出張所に高度救命処置が可能な高規格救急車を配置しました。



高度救命処置用資機材搭載の救急車

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

(仮称) 金成小中一貫校建設事業

6,017万円

【H24年度への繰越額 9億914万円】

(担当：教育環境推進室)

敷地造成測量及び造成工事等（平成23年度～25年度事業の平成23年度分）を行いました。



(仮称) 金成小中一貫校イメージ図

学力向上のための緊急プロジェクト

444万円

(担当：学校教育課指導係)

宮城教育大学と連携し、学生の協力による長期休業中の中学生の学びの場である「もっと学びたい子どものための『学府くりはら塾』」の開講や、教師を対象とした学力向上講演会を行うなど、総合的な学力向上施策を行いました。

語学指導を行う外国青年招致事業

6,120万円

(担当：学校教育課指導係)

外国語指導助手(ALT)を市内全中学校に1人ずつ配置(合計10人)し、中学校等での英語教育推進と地域交流等を推進しました。

また、市内小学校における独自の英語活動の導入や、留学生との交流を通じた生きた英語教育を実践しました。

若柳中学校校舎改築事業

4億7,440万円

【H24年度への繰越額 7億7,339万円】

(担当：教育総務課教育施設係)

教育環境を整備するため校舎建設・解体工事を行いました。(平成22年度～24年度事業の平成23年度分)



若柳中学校 校舎

家庭・地域・学校の連携による青少年育成のための協働教育推進事業

43万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

学校と地域をつなぐコーディネーター、ボランティアの養成や家庭教育支援者対象の学習会を実施しました。

豊かな心をはぐくむ教育環境創造事業

ほか3事業

587万円

(担当：学校教育課指導係)

いじめ、不登校問題への対応として、児童生徒、保護者、それぞれ問題を抱える人々への専門相談体制を整備しました。

- ① 教育相談員の配置
- ② 適応指導教室(けやき教室)の開設
- ③ 問題を抱える子ども等の自立支援事業
- ④ スクールソーシャルワーカー事業

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業（事業名の頭に標記）

新 栗駒山を愛した画家たちの作品展 **84万円**

（担当：社会教育課文化スポーツ推進係）

文化芸術事業として、栗原出身の能島和明氏（日本画家）と菊地義彦氏（洋画家）の作品展を開催しました。

「目指せ！日本一」スポーツ振興事業 **276万円**

各種スポーツの全国大会などへ出場した29件の選手（団体）に参加費助成を行いました。

「やったね！日本一」スポーツ振興事業 **30万円**

全国大会で日本一など優秀な成績を残した各種スポーツ出場選手（団体）に活動費を助成しました。

（担当：社会教育課文化スポーツ推進係）



第25回全国都道府県対抗中学バレーボール大会参加者

ほんものの舞台芸術観賞事業 **443万円**

（担当：社会教育課文化スポーツ推進係）

優れた文化芸術に触れる機会と、学校では味わうことのできない、本格的な舞台芸術の鑑賞機会を提供し、未来の文化の担い手である子どもたちの感性や創造性をはぐくむ事業を開催しました。



小学校5年から中学校3年芸術観賞会「パーカッションコンサート」

「心にきざむ 文化講演会」 **153万円**

（担当：社会教育課文化スポーツ推進係）

著名人を招き、身近で魅力のある内容をテーマとした、文化講演会を開催しました。



～ 私の野球人生 ～
野村克也氏
(平成23年度実施の様子)

(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

文化財保護事業 **225万円**

【平成24年度への繰越額 **5,567万円**】

（担当：文化財保護課文化財係・埋蔵文化財係）

史跡仙台藩花山村寒湯番所跡地の保存整備のほか、市内文化財の調査保護、地域の伝統芸能活動の支援を行いました。



仙台藩花山村寒湯番所跡

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

ブックスタート推進事業 78万円

(担当：栗原市立図書館)

3～4ヶ月児健診の際に、絵本を開く楽しい体験とメッセージを伝えて絵本を贈り、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれ合うひとときを持つ、きっかけを作りました。

年間36回開催、470人の参加がありました。



子どもたちへ贈られる絵本とバック

地域子育て支援センター運営事業 1,430万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

地域全体で子育てしやすい環境を推進するため、育児不安を抱える母親の相談や子育てサークル等の育成支援を行うセンターを市内10地区で行いました。



「お月見会」の様子

児童虐待防止対策事業

367万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

児童虐待をなくすため、地域協議会を開催し、関係機関の連携や相談等の対策を講じました。また、児童虐待防止に関する専門的な研修を実施し要保護家庭を支援するスタッフの資質の向上を図りました。

放課後児童クラブ等運営事業

6,604万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

共働き家庭などの、おおむね10歳未満の児童を預かり、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図るため、市内全地区で放課後児童クラブ等を実施しました。

特定不妊治療費助成事業 100万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

高額な治療費がかかる体外受精などの特定不妊治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、その費用の一部を助成しました。

すこやか子育て支援金支給事業

2,103万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

子育てを応援するため出生祝金、入学祝金を支給しました。

・出生祝金	第1・2子	2万円
	第3子	5万円
	第4子	10万円
	第5子以降	20万円
	・入学祝金	第3子以降

子ども医療費助成事業 4,665万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

子育て家庭における経済的軽減を図ることを目的に、これまで実施していた小学生・中学生の入院医療費の一部助成に加え、平成23年度からは、新たに通院に係る医療費の一部助成も行いました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

一時保育事業 1,082万円
(担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者のパート就労や病気、冠婚葬祭、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消等のため、市内10か所の保育所において、一時的(緊急的)にお子さんを預かる事業を実施しました。



自由時間中の保育の様子



乳幼児健康診査の様子

母子保健健康診査事業 5,928万円
(担当：健康推進課保健指導係)

妊婦の異常の早期発見・早期治療を促すとともに健康管理の向上を図るため、新たな検査を加えた妊婦一般健康診査費用の助成を行いました。

また、乳幼児の疾病、又は異常の早期発見・早期治療を促すため、2か月・8か月児の医療機関での健康診査費用の助成や乳幼児健康診査、育児相談などを行いました。

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

健康診査事業 1億6,689万円
(担当：健康推進課健康推進係)

生活習慣病及びがんの予防・早期発見のため、健康診査や各種がん検診を実施しました。
また、がん検診推進事業として、対象年齢の方に大腸がん検診の無料クーポン券の配布や胃がん検診を申し込まなかった方に受診勧奨の通知をするなど、受診率の向上に努めました。



健康診査の様子

予防接種事業 1億6,117万円
(担当：健康推進課健康推進係)

感染のおそれがある疾病の発症及び重症化防止並びに蔓延を予防するために予防接種事業を行いました。

(ポリオ、BCG、三種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風)麻しん、風しん、日本脳炎、小児用肺炎球菌、ヒブ、水痘、おたふくかぜ、子宮頸がん、高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザの予防接種など)

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業 (事業名の頭に標記)

新消費生活相談事業 502万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

契約や電話勧誘販売など消費生活での困りごとに関して、専門知識と経験のある消費生活相談員を配置して相談に応じました。

[相談実績]

通信販売、訪問販売、電話勧誘販売などに対する相談 86件

[相談窓口]

月曜日～金曜日 9時～16時まで
(祝日・年末年始除く)

専用電話 0228-22-1501

[相談場所]

築館農村環境改善センター 1階事務室
(市役所本庁舎隣、ふるさとセンター)

拡いのちを守る緊急総合対策事業

1億328万円

(担当：社会福祉課社会福祉係
・健康推進課保健指導係)

平成19年度から自殺防止キャンペーンや多重債務専用の電話相談、弁護士相談、栗原市のぞみローンの資金融資などで自殺防止対策に取り組んでおり、問題解決に至るなど、自殺者数も年々減少してきています。今年度は、新たに小中学生等を対象とした金融講座などの普及啓発事業を実施しました。



メンタルヘルス研修会の様子

拡地域活動支援センター・小規模作業所運営事業

2,071万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

障害者等に創作活動や生産活動の機会を提供するほか、社会との交流促進を図りました。



小規模作業所内活動の様子

日常生活用具給付等事業 1,726万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

重度障害者等に対し、日常生活の便宜を図るため特殊寝台や紙おむつなど日常生活用具の給付、または貸与を行いました。

移動支援事業 306万円

屋外での移動が困難な障害者に、外出する際の支援を行いました。

コミュニケーション支援事業 60万円

意思疎通を図ることが困難な障害者に、手話通訳者等の派遣を行い意思疎通の支援を行いました。

(担当：社会福祉課障害福祉係)



日中一時支援事業 347万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

障害者に日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行いました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

相談支援事業 1,960万円

障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行いました。

自動車運転免許取得・改造助成 33万円

障害者が自動車運転免許を取得したり、自動車を改造する費用の一部を助成しました。

訪問入浴サービス事業 335万円

自宅での入浴が困難な身体障害者に対し、訪問入浴サービスを行いました。

(担当：社会福祉課障害福祉係)



相談支援事業の様子

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

高齢者福祉タクシー利用助成事業

480万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

通院が困難な低所得の高齢者に対し、通院時のタクシー利用料金の一部を助成しました。

緊急通報体制等整備事業

244万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、家庭用緊急通報システムの貸し付けを行いました。

「食」の自立支援事業

882万円

ひとり暮らし高齢者等に対し、宅配による給食サービスを行いました。

軽度生活援助事業

725万円

ひとり暮らし高齢者等に対し、ホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活上の援助を行いました。(家事援助)

(担当：社会福祉課社会福祉係)

生きがい活動支援通所事業 2,254万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

家に閉じこもりがちな高齢者に対し、通所によるサービス(ミニデイサービス)の提供を行いました。



生きがい活動支援通所事業の様子

日常生活用具給付事業

10万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、電磁調理器等の日常生活用具を給付、または貸与を行いました。

高齢者日常生活支援業務利用助成事業

121万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、庭の清掃や除雪作業などの日常生活の支援に係る経費の一部を助成するため、日常生活支援業務助成券(シルバー人材センターが行う日常生活支援業務に限り使用できる)を交付しました。(生活援助)

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗原ブランドの確立・支援事業

1, 008万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

インターネットショップや商品カタログによる通信販売を活用したダイレクトマーケティングの推進を支援し、消費者に求められる付加価値の高い栗原ブランドの確立を図りました。



「くりはらいっぱい新聞」にて栗原産品をPR

“くりはらさん”の詰め合わせ「なつかしセット」

くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

906万円

(担当：畜産園芸課畜産振興係)

優良肉牛資源の拡充と産地化を図るため、市内で生産された優良素牛を自家保留及び導入した場合に助成を行いました。

なお、産肉能力の高い茂洋産子^{しげひろ}の場合には加算して助成しました。

助成実績 284頭(うち茂洋産子22頭)



宮城県基幹種雄牛「茂洋」^{しげひろ}

安全・安心な栗原米生産流通対策事業

2, 385万円

【H24年度への繰越額 1, 848万円】

(担当：農林振興課農政係)

安全・安心な栗原米の生産流通対策として、土壌分析器整備事業に対する助成や土壌改良剤の散布を行いました。

米消費拡大推進事業

48万円

(担当：農業政策推進室)

米の消費拡大を図るため、各種団体が実施する料理講習などに対して「米パン焼き器」の貸し出しを行いました。



米パン焼き器の調理実演会の様子

ペレットストーブ購入事業


100万円

(担当：農林振興課林業振興係)

森林資源の有効活用と二酸化炭素削減の啓発を図るため、栗駒地区のみちのく伝創館にペレットストーブ2台を設置しました。

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

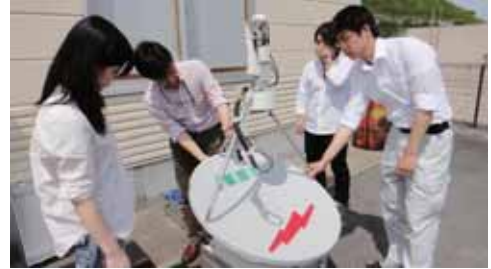
くりはらイノベーションプロジェクト

209万円

(担当：企画課企画係)

市は電気自動車の自動運転システム実証実験を皮切りとして、慶應義塾大学が研究を進める将来的な気候変動の影響と適応策を検討する「グリーン社会ICTライフインフラ」研究プロジェクトを支援しています。

今年度は、栗原で安心して暮らすための適応策づくりに取り組み、最先端の情報通信技術により、エネルギー消費の情報を測定し効率的に利用することや、遠隔からの健康(医療)相談、災害発生時の情報通信などの研究支援を行いました。



災害情報緊急ホットラインシステム

雇用拡大奨励金

1,740万円

新規学卒者等(市内に住所を有する高等学校卒業後3年以内までの者)を新たに常時雇用した市内企業に対して、雇用者数に応じて助成を行いました。

企業立地促進奨励金 1,277万円

市内に新設・移設・増設した企業に対し、投資規模に応じ固定資産税相当額を助成しました。

雇用促進奨励金 410万円

市内に住所を有する者を3人以上新たに常時雇用した市内企業に対し、その雇用者数に応じて助成を行いました。

(担当：産業戦略課企業戦略係・商工振興係)



就職希望高校生と市内企業の出会いの場
「くりはらジョブ・フェア 2011」の様子

新産業創出支援事業 500万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

新たな産業と雇用の創出に向けて、市内の企業が大学や研究機関などとの連携による新製品の開発・研究に対して助成を行いました。

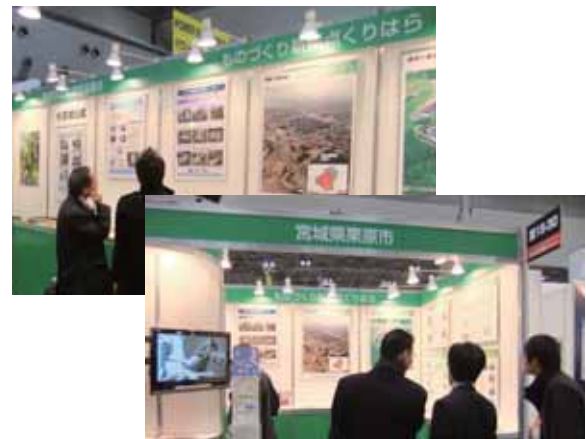


有機薄膜太陽電池の実証実験

ものづくり企業活性化事業 120万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

地域経済の活性化を図るため、企業連絡協議会を中心として新たに事業展開ができるよう企業情報・投資環境情報発信事業に対して助成を行いました。



第4回国際カーエレクトロニクス技術展の様子
(平成24年1月18日～20日開催)

中小企業振興資金 3億2,763万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

市内で操業する中小企業者に対し資金融資のあっせんや、保証料等を助成しました。

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

広域観光戦略推進事業 49万円

(担当：田園観光課観光振興係)

平成23年7月7日に「ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡会議」の設立協定締結式を開催しました。

豊かな自然資源、動植物、温泉、歴史と文化など多彩な観光資源を有する栗駒山麓をめぐる、秋田県湯沢市、宮城県栗原市、岩手県一関市及び秋田県東成瀬村の観光振興について、県域を越えて広域的に連携し、地域の活性化を図りました。



ゆっくりひとめぐり栗駒山麓観光写真コンクール表彰式

くりはら交流プラザ改修事業 1億410万円

【H24年度への繰越額 633万円】

(担当：市民協働課地域振興係)

くりはら交流プラザ(エポカ21)の空調設備改修や公共下水道接続、更には地上波デジタル放送対応テレビなどの整備を実施し、より快適な空間の提供及びサービスの向上に努めました。

くりはら田園観光都市創造事業 241万円

(担当：田園観光課観光企画係)

豊かな自然や伝統文化、特産品など地域資源を活用しながら、すべての産業が連携して実現する「くりはら田園観光都市」の創造を目指し、資源調査、地域づくりインターン事業、くりはら観光塾などに取り組みました。

観光施設整備事業 7,096万円

【H24年度への繰越額 5,630万円】

(担当：田園観光課観光振興係)

ハイルザーム栗駒、花山温泉温湯山荘、金成温泉金成延年閣などの観光施設の整備事業を行いました。



改修後の金成延年閣大浴場



観光に関する知識や動向、事例などの学ぶ場として開催した「観光産業づくりシンポジウム」

商店街活性化事業 108万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

商店街の活性化に向けて、空き店舗を活用する事業者に対して、賃借料の一部を助成しました。

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

(1) 小さなコミュニティを大切にしたい地域づくりを推進します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

住民自治活動助成事業

6, 394万円

(担当：市民協働課市民協働男女参画係)

「市民が創るくらしたい栗原」を目指し、各地区の自治会やコミュニティ推進協議会の創意工夫による自立的なコミュニティ活動を支援するため、一括交付金を交付しました。



健康教室での様子

(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

男女共同参画推進事業

36万円

(担当：市民協働課市民協働男女参画係)

男女が互いに尊重し合い、個性と能力を十分発揮しながら、共に地域活動に参画できるよう、地域リーダーの養成講座や講演会等を開催しました。

栗原市市民活動支援センター運営事業

730万円

(担当：市民協働課市民協働男女参画係)

NPO（特定非営利団体）やボランティア団体など、市民活動を行う方々の活動拠点として運営を行い、市民活動の活性化を促進しました。

(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います

郵便局窓口交付サービス事業

103万円

(担当：市民課市民係)

最寄の総合支所から離れている地区及び出張所を廃止した地区にある、栗駒沼倉・栗駒文字・一迫金田・鶯沢秋法の4郵便局で、各種証明書等の交付サービスを実施しました。



郵便局窓口での交付サービス

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

(1) 水と緑、山の再生へ

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

集落支援対策事業

322万円

(担当：市民協働課市民協働男女参画係)

高齢化率が高い花山地区に集落支援員を配置し、集落の巡回を行いながら現状や問題点の把握、さらには集落の将来あるべき姿などについて、「住民と住民」「住民と行政」との話し合いを行い地域の実情に応じた集落の維持や集落対策を行いました。



花山小豆畑地区の世代間交流事業の様子

栗駒山交通渋滞対策事業

192万円

(担当：田園観光課観光振興係)

栗駒山を訪れる方に震災からの復興状況と栗駒山の紅葉を堪能していただくため、秋の紅葉シーズンに渋滞対策として感謝の気持ちを込め、シャトルバスの運行を実施しました。



シャトルバスの運行による渋滞対策の様子



訪れる人を魅了する栗駒山の紅葉

中小企業災害復旧融資利子補給補助金（平成20年岩手・宮城内陸地震分）

232万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

中小企業者が金融公庫等から融資を受けた災害復旧対策資金の利子の補給を行い、災害の早期復旧を支援しました。

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

(1) 水と緑、山の再生へ

新 栗駒山麓崩落地・景観活用事業

39万円

(担当：田園観光課観光企画係)

崩落や地すべりなどの被災した栗駒山麓の地形・景観を、震災の経験と記憶を後世に伝える貴重な資源として、防災教育・学術研究・観光の場などに幅広く活用し、地域の活性化の具体化を目指して、大学教授などの専門家や関係機関との推進を図りました。また、ジオパーク認定に向けて取り組みを始めました。



荒砥沢上流部の地すべり崩落現場



栗駒山麓崩落地・景観活用将来ビジョン提言の様子

ブロック塀等除却・生垣等設置助成事業

244万円

(担当：建築住宅課建築係)

災害発生に備え、倒壊のおそれがあるブロック塀から命を守るとともに、緊急車両などの通行を確保するため、除去工事の費用を助成しました。

また、除去後の生垣の設置に対して費用を助成しました。





対策前



対策後

7 特別会計・事業会計予算の主な事業

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

特定健康診査・特定保健指導事業
(国民健康保険特別会計) 4,534万円
 (担当：健康推進課医療給付係)


特定健康診査とともに、※メタボリックシンドロームやその予備軍を発見し、生活習慣を改善させる保健指導を実施しました。

※メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満によって、さまざまな病気が引き起こされやすくなった状態。


後期高齢者医療制度 7億4,549万円
(後期高齢者医療特別会計)
 (担当：健康推進課医療給付係)

75歳以上の高齢者の方(一定の障害のある方は65歳以上の方)を対象にして、安定的な医療の提供を目的に、保険料の徴収や医療の適正化に取り組みました。

 **認知症対策事業**
(介護保険特別会計) 734万円
 (担当：介護福祉課認定調査係)

認知症になっても地域で安心して暮らせるまちづくりを目的として、認知症予防教室や研修会を開催し、認知症の方とその家族を支援しました。

また、認知症の早期治療のため、専門医による認知症外来を実施しました。

 **給水車購入事業**
(水道事業会計) 993万円
 (担当：水道課施設係)

災害や漏水などにより、水道水を供給できなくなった場合の緊急給水に備え、加圧式給水車を購入しました。



緊急時に備え購入した給水車

介護予防事業
(介護保険特別会計) 1,268万円
 (担当：介護福祉課認定調査係)

運動機能や口腔機能の向上・栄養状態の改善・閉じこもり予防に関する講座を開講し、高齢者が要介護状態にならないよう支援しました。

また、元気な高齢者がより健やかに自立した生活を送れるよう、運動や認知症予防の教室を開催するほか、介護予防について、一般市民への普及啓発を促進しました。



認知症サポーター養成講座の様子

水道施設整備事業 1億3,819万円
(水道事業会計、簡易水道事業特別会計)
【H24年度への繰越額8,013万円】
 (担当：水道課施設係)

水道水の安定供給や災害時の備えを目的として、古くなった水道本管やその他の水道施設を交換・修理する工事を行いました。

公共下水道事業 2億2,818万円
(下水道事業特別会計)
【H24年度への繰越額6,806万円】
 (担当：下水道課施設整備係)

湖沼や水路などの自然環境を守り、生活環境の改善を目的に、汚水処理管路施設工事等の事業を行いました。(管路工事1,783m)

7 特別会計・事業会計予算の主な事業

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

戸別浄化槽設置事業(市町村設置型)

(合併処理浄化槽事業特別会計)

1億5,774万円

(担当：下水道課施設整備係)

湖沼や水路などの水質保全と生活環境を改善するため、公共下水道事業・農業集落排水事業の計画がない区域を対象に、申請に基づく市設置浄化槽を145基設置しました。



水洗化をPRした水洗化促進展

浄化槽整備事業(個人設置型) (合併処理浄化槽事業特別会計)

402万円

(担当：下水道課総務管理係)

湖沼や水路などの水質保全と生活環境を改善するため、公共下水道事業が計画されている区域内で、下水道が当分の間整備されない区域を対象に、浄化槽設置者に対して設置に要する費用の一部を助成しました。(12件)

医師住宅整備事業

(病院事業会計)

1億277万円

【H24年度への繰越額560万円】

(担当：医療管理課経営管理係)

医師招へいのため、老朽化した市立病院医師住宅の建て替えを行い、医師が働きやすい環境を整備しました。

医師住宅4棟建設(栗原中央病院1棟、若柳病院3棟)

農業集落排水事業

272万円

(農業集落排水事業特別会計)

(担当：下水道課施設整備係)

農業用水や湖沼や水路などの水質保全と生活環境を改善するため、汚水処理事業を行っており、公共汚水ます設置工事などを行いました。

医療機器整備事業

(病院事業会計)

6億1,627万円

(担当：医療管理課経営管理係)

医療の充実とサービスの向上を図るため栗原中央病院の総合医療管理システム(電子カルテ)の整備や市立3病院の医療機器の更新等を行いました。



電子カルテで画像診断を行う医師

医学生修学一時金貸付事業

(病院事業会計)

2,280万円

(担当：医療管理課総務係)

市立病院及び診療所への医師招へいを図るため、将来、市立病院及び診療所に医師として勤務しようとする医学生に対し、修学一時金を貸し付けました。

※貸付者数 平成17年度～平成23年度：14人

看護学生修学資金貸付事業

(病院事業会計)

540万円

(担当：医療管理課総務係)

市立病院及び診療所の看護師確保を図るため、看護師養成施設に在学する学生で、将来、市立病院及び診療所に看護師として勤務しようとする学生に対し、修学資金を貸し付けました。

8 平成22年度からの主な繰越事業

平成22年度で行う事業が年度内に完了することができないなどの理由により、平成23年度に予算を繰越して事業を行いました。

くりはら田園鉄道資産活用事業
1, 178万円
(担当：企画課企画係)

経年劣化した車両の塗装や旧若柳駅周辺へのフェンス設置工事を実施しました。



塗装された車両

図書館施設整備事業 4, 834万円
【H24年度への繰越額1, 982万円】
(担当：栗原市立図書館)

図書館2階の大研修室を改修し、開架書庫の増設や空調設備改修工事など、図書館機能が充実しました。



改修した2階開架ホールと空調設備(屋外機)

幼稚園・小中学校エアコン設置事業
5, 799万円
(担当：教育総務課教育施設係)

教育環境を整備するため、各学校等の保健室・特別教室などにエアコンを設置しました。



エアコンが設置された特別教室

築館中学校体育館改築事業
3億7, 950万円
(担当：教育総務課教育施設係)

教育環境を整備するため、体育館建設・解体工事を行いました。



完成した築館中学校体育館

8 平成22年度からの主な繰越事業

農業用施設維持補修事業

9,890万円

(担当：農村整備課農地整備係)

農道や水路、ため池などの農業用施設の維持補修を行いました。



改修前



改修後

森林路網整備事業

1,746万円

【H24年度への繰越額 252万円】

(担当：農林振興課林業振興係)

森林管理用作業路の開設、改良や支障木の除去などを行いました。

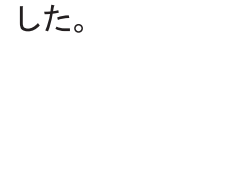
道路・橋りょう維持補修事業

1億9,211万円

【H24年度への繰越額 2,688万円】

(担当：建設課維持係)

安全で快適な道づくりのため、補修などが必要な道路・橋などの維持補修を行いました。



修繕前



修繕後

栗駒中学校校舎改修事業

5,025万円

(担当：教育総務課教育施設係)

老朽していた校舎外壁等の改修工事を行いました。



改修後の栗駒中学校校舎

9 東日本大震災関係決算

東日本大震災に係る平成23年度内に使った災害救助費や復興支援費、主な災害復旧費の金額です。

下水道等施設災害復旧費

7億6,117万円

【H24年度への繰越額 8億1,907万円】

(担当：下水道課)

〔復旧工事が完了した箇所数〕

公共下水道	61箇所
農業集落排水	12箇所
合併処理浄化槽	133箇所

簡易水道施設災害復旧費

1億4,584万円

【H24年度への繰越額 240万円】

上水道施設災害復旧費 2億1,986万円

【H24年度への繰越額 3,525万円】

(担当：水道課)

診療所施設災害復旧費	60万円
病院施設災害復旧費	3,343万円
(担当：医療管理課)	

9 東日本大震災関係決算

災害対策費 3億2,043万円

(担当：栗原市震災復興対策本部)

〔主な経費〕

避難所経費等	1億5,326万円
人件費等	9,873万円
仮設トイレ、運搬用トラックリース等	1,173万円
被災住宅応急修理費	4,681万円



避難者の受け入れ（一迫老人福祉センター）

復興支援費 14億167万円

【H24年度への繰越額 12億9,276万円】

(担当：栗原市震災復興対策本部)

〔主な復興支援策〕

被災離職者等緊急雇用支援事業	1億3,472万円
災害廃棄物処理料等	9億804万円
宅地等災害復旧助成補助金	6,092万円
木造住宅耐震改修助成補助金	2,406万円
災害復興住宅融資利子補給補助金	2万円
中小企業災害復旧融資利子補給補助金	326万円
小規模企業者災害復旧補助金	7,895万円

新 環境放射線対策 3,070万円

(担当：栗原市環境放射線等対策プロジェクト本部)

福島第一原子力発電所の事故による環境放射線等（放射能を有する放射性物質等を含む。）が市民に影響を及ぼすおそれが発生したことから、空間線量の測定、市内農林産物等放射性物質の検査、教育施設における放射性物質低減対策の実施、放射線の正しい情報の提供など市民に対して迅速かつ的確に対応しました。

また、放射性物質汚染対処特措法に基づく汚染重点調査地域の指定を受け、栗原市除染実施計画を策定しました。

道路橋りょう災害復旧費

12億7,813万円

【H24年度への繰越額 8億8,100万円】

(担当：建設課)

〔復旧工事が完了した箇所数〕

道路	470箇所
橋りょう	1箇所、河川 1箇所

農林業施設災害復旧費

4億1,935万円

【H24年度への繰越額 7,966万円】

(担当：農林振興課、農村整備課)

〔復旧工事が完了した箇所数〕

農道	197箇所、林道 53箇所
水路	141箇所、ため池 137箇所など

学校施設災害復旧費 7億5,868万円

【H24年度への繰越額 5,370万円】

(担当：教育総務課、学校教育課)

〔復旧工事が完了した施設数〕

幼稚園	8園、小学校 26校
中学校	10校、給食センター 3施設

社会教育施設災害復旧費 4億771万円

【H24年度への繰越額 2億4,400万円】

(担当：社会教育課、文化財保護課)

〔復旧工事が完了した施設数〕

社会教育施設	28施設
社会体育施設	16施設
文化財施設	4施設

平成23年度

「栗原市のお金の使い道」(栗原市決算概要)

発行 宮城県栗原市 編集 栗原市総務部財政課 財政係

〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号

TEL 0228-22-1115

FAX 0228-22-0312

E-mail zaisei@kuriharacity.jp

この決算概要に関してお気づきの点がありましたら、気軽に財政課財政係までお寄せください。